

2019年 東北大学前期日程試験【数学】問題分析

1 今年(2019)の傾向

総評・講評(大問毎に)

理系

- 1 (接点・三角関数) 直交条件を(1)で確認し、一般形で考えを
可視化している。基本問題
- 2 (対数関数・二次不等式) 真数条件と底の値による場合分けに注意
整数に関する不等式の扱いも大事
- 3 (数列・漸化式)
(1), (2)は易しいが(3)は難問。1問形式には明らかだが、
説明が難しい。
- (複素数と方程式)
- 4 (1)より易しいが、(1)を誘導して(2)(3)を解く
に複素数にも対応する必要がある。
- 5 (積分)
等式をみる関数を求める問題。計算量が多く、方針をすばやく
見つけるかが求められる。
- 6 (確率・数列) 漸化式はすぐに立てられ、後はそれを解くだけ。
標準的問題ではあるがやや計算量が多い。
(2), (3)は漸化式を用いない解法もある。

総評

計算力を要する問題と説明が難しい問題が多く、
どれだけ部分点を稼げたかがポイント

2 合否ライン（予想）※他の教科が合格ラインをとったときの得点（%）予想

【理系】

理学部	60 %	薬学部	60 %	保健/ 放射線	50
医学部	70 %	工学部	55 %	"/検査	50
歯学部	55 %	農学部	55 %		

3 来年受験する生徒へのアドバイス

参考書の典型問題としっかりこなし、解答のパターンと計算力を身につけよう。答案の記述力も重要なので、先生にチェックしてもらおう。